

ジャン=ジャック・バレ教授 室内楽特別講座

Prof. Jean=Jaques Balet Master Class

2018年10月23日(火) 10:00~17:00 L507教室において、ジャン=ジャック・バレ教授の室内楽講座特別レッスンが行われました。バレ教授の室内楽講座は今年で3回目となり、今年度は大学院のピアノ学生を中心とする6組が受講しました。バレ教授には、室内楽において最も重要である①お互いの音色をそろえること、②そのためにはハーモニーを感じる必要があること、③息を深く吸って始めること、ということを中心に、音楽を感じる大切さについて実践を交えながらご指導いただきました。音の響きについて香りがするように、光輝くように感じるなど文学的表現を交えながら、それぞれの曲を表情豊かに変化させていき、大変勉強になりました。ピアノに限ってはペダルを注意深く使用し指でレガートにすること、和音のバランスのとり方について、などの課題を提示されました。レッスンの中では、ピアノの左手と低音楽器で演奏してみることで低音の重要性に気付かされる場面もありました。お互いの音を調和させるためにはゆっくり練習してよく響きを聴くことが重要とのことでした。通訳は亀田真弓先生でした。

